



GRReddy SOARER TWIN TURBOとして東京オートサロン2025に展示されたMZ12 ソアラ 3.0GTは TRUST 創設者のひとり、大川光一氏の『大川ソアラ』（1986年に当時最速の316.066km/hを記録）をオマージュしたもの。エンジンは当時の6M-Gをベースに3.1ℓ化。TD05H-18Gタービン2基を組み合わせる。電動スロットル化やLINKフルコン制御も特徴だ。内装はフルカスタムで黒基調に改められ、TRUSTのシートやKENWOODのカセットデッキ、水中花シフトノブなどが懐かしい。足まわりはMOONTECH Ploom SUSPENSION、GREX 4POT キャリパーなどを奢る

リムの深さで表情を変える
トラッドな3ピース

東京オートサロン2025で脚光を浴びたトラストのMZ12ソアラ3.0GT。その足もとを飾るのが、ワーク「マイスターM1」だ。かつての「大川ソアラ」をオマージュしたもので、エンジンも6M-Gをベースとするなど、当時のイメージを大事にしたコンセプトのクルマだけに、ホイールもそれに相応しい選択となっている。

マイスターM1は3ピース10交点メッシュのトラディショナルなデザインで、スポークの出発点となるセンターコーンのサークルが際立つが、その内側は深く掘り込まれていて、それがアイデンティティとなっている。

リムはバファルマイトで、ディスクは「シルバー」「マッドカーボン」「チタンゴールド」「ブラック」が標準カラー。リムアレンジやカスタムオーダーカラーも多彩に用意されている。

取材車はフロント17×9.0J インセット19、リア17×10.0J インセット19で、それぞれフロント205/45R17、リア235/40R17のプロクセススポーツを引っ張り気味に履く。チタンゴールドのメッシュの隙間から、これまたゴールドのGREXの4POTキャリパーが顔を覗かせるのが、じつにキュートだ。

TRUST MZ12 SOARER 3.0GT

F 17×9.0J inset 19 R 17×10.0J inset 19
PROXES Sport F 215/45R17 R 235/40R17

MEISTER M1

3ピース10交点メッシュの 研ぎ澄まされた不朽の美学

16inch	5.0J(6万500円)~11.0J(7万3700円)
17inch	7.0J(7万8100円)~13.0J(9万1300円)
18inch	8.0J(9万5700円)~16.0J(11万3300円)
19inch	8.0J(10万7800円)~16.0J(12万5400円)

